

院内トリアージ手順

【目的】

一般外来において多くの患者が待っていた場合、その時の状態によっては、長時間の外来診療に待つことができない状態の患者が存在したとき、**重症患者を優先して治療できる**ように他の外来担当医師にも応援を依頼するなどの判断がトリアージとなる。

トリアージとは、その状況下におけるもので、絶対のものではないということであり、状況が変わればトリアージカテゴリーも変わる。トリアージは繰り返し行われなければならない。

【対象】※以下の項目全て該当すること

- ・初心の患者（初診料を算定する患者）
- ・夜間・休日または深夜に受診した患者
- ・救急車での搬送以外（ウォークインの患者）

【手順】

1. 患者の状態を観察し、トリアージカテゴリー（別紙）を基準にしながら優先順位を決定する。
2. トリアージカテゴリーにて経時的に再評価を行い、トリアージを繰り返す。
3. 院内トリアージ実施時には、トリアージの必要性と費用について患者又は家族へ説明を行う。
4. トリアージ実施記録は専任看護師（救急医療に関する3年以上の経験を有する）が実施し、カルテ記録を行う。

（例）

トリアージ時刻 21:00

トリアージ者：〇〇

トリアージ区分：（緑）準緊急

2020.4 作成
吉村病院

院内トリアージの緊急度判定基準 (JTAS 緊急判定レベル)

蘇生 (Blue)	直ちに診療・治療が必要	心停止 重症外傷 痙攣持続 高度な意識障害 重篤な呼吸障害 など	治療の継続
緊急 (Red)	10分以内に診察が必要	心原性胸痛 激しい頭痛、腹痛 中等度の意識障害 抑うつ、自傷行為 など	15分毎の再評価
準緊急 (Yellow)	30分以内に診察が必要	症状のない高血圧 痙攣後の状態(意識は回復) 変形のある四肢外傷 中等度の頭痛、腹痛 活動期分娩 など	30分毎の再評価
低緊急 (Green)	1時間以内に治療が必要	尿路感染症 縫合を必要とする創傷(止血済み) 不穏状態 など	1時間毎の再評価
非緊急 (White)	2時間以内に診察	軽度のアレルギー反応 縫合を要さない外傷 処方、検査希望 など	2時間毎の再評価

JTASの緊急度判定は、青、赤、黄、緑、白の5段階に分類されています。

青はもっとも緊急度が高く、直ちに診察および治療が必要と判定されます。

赤は緊急で10分以内に診察が必要なレベルとされ、15分ごとに再評価を行います。

黄は準緊急で、30分以内に診察が必要なレベルです。再評価は30分ごとに行います。

緑は低緊急で、1時間以内に診察が必要なレベルです。再評価は1時間ごとに行います。

白は非緊急で、2時間以内の診察とされています。再評価は2時間ごとに行います。